

## 新宮山彦ぐるーぷ第2035回 深仙宿避難小屋外壁トタンの塗替え塗装

◇実施日；2019年8月04日(日) 薄いガス後快晴  
◇参加者；川島 功、児嶋道夫、上村洋司・和美、大門健一、  
梶野照雄。 6名。

深仙小屋の外壁トタン板の錆びが進んできて、特に西側は塗料が殆ど残っていない状態になっていた。

サビで穴が開く前に塗替え塗装しようと考え、6月3日に塗料と塗装用具を荷揚げして灌頂堂にデポし、いつでも塗装作業ができるように準備していたが、雨や他の行事が続ぎ、延び延びになっていた。

太尾登山口を8時過ぎに出発、日差しは強いが風もあり、まだそんなに暑さを感じない。いつものように、古田の森、千丈平で休憩。ここまではいつもより若干ペースが早かったので、釈迦ヶ岳山頂を経由して修復した石積の状態確認後に、深仙宿に向かうことにした。かくし水場で周りの草を刈ってから山頂を目指す。



登山開始



かくし水



周りの草を刈る



釈迦ヶ岳山頂



石積み修復工事後の状態



深仙宿錆びた外壁トタン

山頂で石積み修復工事後の状態を確認、最上部に石を積み足して深仙宿へ下った。

11時過ぎに深仙宿着、少し早いが先に昼食を摂る。

食後すぐに塗装作業を始める。今回用意した塗料は、錆びの上から塗れる錆止め塗料で、錆びを落とす手間が省けるので、作業時間の短縮が可能になる。

埃やクモの巣などを柄付きタワシ等で落として、波板用ローラーと刷毛で塗装する。ローラー刷毛の凸凹と波板の幅が少し違って、ローラー刷毛だけでは塗り残しの部分が出来、刷毛での修正が必要だった。

塗料は西側の外壁を塗装するだけの分量1缶(1.6kg)と、うすめ溶剤500ccを準備したが、気温が高くなって塗料の乾燥が思ったより早くなり、溶剤が足らなくなってしまった。

おまけに予定外のドア横の約1mが塗られてしまった、西側の裾に少し塗れない部分が残った。



西側外壁トタンの塗装作業



西側外壁トタンの塗装作業



塗替え塗装終了



一面茶色の錆びで覆われていた西側の外壁トタン板は、見違えるような鮮やかな色になった。  
錆び落としが必要なかったため、実質の塗装時間は40分だった。

塗装を終えて、先日できなかったLED照明の交換を行う。



LED照明の交換



本日の参加者



釈迦ヶ岳と大目岳

塗装用具などをお堂に収納、後片付けをしていると、いつもFBを見ているという登山者が声をかけてきて、一緒に写真を撮ってから下山を始めた。  
午前中よりも気温が上がリ、千丈平までの登りは風も当たらないので、たっぷり汗をかいた。  
この時期はお天気がいいのだが、気温が高すぎて塗装作業向きではない。残る3面の外壁塗装(塗料約5缶要は、涼しくなつてからにしようと思う。

### 行動タイム

太尾登山口 08:10→09:25 古田の森→10:00 かくし水→10:25 釈迦ヶ岳→11:10 深仙宿 13:25→14:05 千丈平→15:50 太尾登山口。

(記：梶野、写真：梶野、川島)